教科別 授業創造プラン(調査結果の傾向の分析と日頃の授業に基づく対策) 日野市立平山中学校 音楽)実技教科

今までの授業

①知識・技能のついて

知識では、音楽の基本的な楽典や読譜につ いて、繰り返し学習を行い、定着を図って いる。

器楽や歌唱の技能では、基礎的な奏法や発 声方法を定着させ、演奏することや歌うことへの苦手意識をなくすために、肯定的な 声かけを意識して授業を行っている。

②思考判断表現について

ワークシートに自分の考えを記入したり 他の人の意見を聴いて考えを深められる ような授業を心がけている。 どのようなことを記入するのか、どのよう に感じたかを具体的に記入するように指 導している。

③主体的に取り組む態度について 生徒が主体的に取り組めるようリーダー を立て、進行させるような帯活動を行って いる。

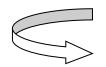
また、パート練習などのグループ活動も取 り入れ、意見交流ができるように時間設定 している。

①基礎的な楽典の知識理解の定着に個人差 があるように感じる。単元ごとに出てくる 音楽用語や音楽記号などをその都度確認

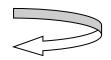
し、共通理解を図る。 授業内では理解をしているが、定期テスト や確認テストを行うと、理解できていない 生徒が多い。

歌うことに対して抵抗感がある生徒が多 く、技能の観点が低い生徒が多い。

- ②自分が感じた思いやイメージを言葉や文章 で表すのが苦手な生徒が多い。また、どんな ところがどのようによかったかなど具体的 に記入することがまだ定着していないので どのように記入すればよいか分かるような ワークシート等に記入する際に、繰り返し記 入の仕方について指導する必要がある。
- ③グループ活動では、意見を発言できる生徒 と発言できない生徒がおり、班によって意 見交流が滞ってしまうことがある。 鑑賞の授業では、教員からの一方通行の授 業となってしまうことがあるので、生徒が 主体的に活動できる取り組みを行ってい







授業改善の具体的な方策

第1学年

【引き続き重点的に取り組むこと】

- ①授業で身につけさせたい力の定着を図る
- ために、前時の復習を必ず行う。 ②自分の思ったことや感じたこと 関連付けて、言葉や文章にできるように指
- | 導していく。 | ③帯活動を定着させ、生徒が主体的に意見を 伝えあえる活動にする。

【授業の一部または全部を改善すること】

- 礎的な楽典の足者でした。 とに復習確認テストを行う。 との結果から、視覚的な工 ①基礎的な楽典の定着を行うために、単元
- ②授業アンケートの結果から、 夫が分かりにくいという生徒が複数いた ので、生徒に分かりやすい板書やワーク シートの工夫を行う。
- ③リーダーの育成を図り、自分の得意なこと を発揮できるような場面を多く設定する。

第2学年

【引き続き重点的に取り組むこと】

- ①楽典など音楽の基礎的な知識の定着を図
- ②自分の意見を発言することが苦手な生徒が 多いので、積極的に意見を発言したり、鑑 賞文を書く活動を多く取り入れる。
- ③生徒からの活発な発言を出すために、全体 への発問を多くする。

- 【授業の一部または全部を改善すること】 ①歌唱に対して苦手意識をなくすために、発 声方法を指導したり、それぞれの良い部分を のばしていく声かけをする。
- ②授業アンケートの結果から、視覚的な工夫 がされていないと感じる生徒が複数いた のでICTの活用を行い、分かりやすいワー クシートを作成する。
- ③受け身の生徒が多いので、グループ活動を 多く取り入れ、意見交流できるようにする。

第3学年

【引き続き重点的に取り組むこと】

- ①学年の中で、基礎的な楽典の定着に差がある ので、共通理解ができるよう前回の授業を復習 ②グループワークを多く設定し、意見交流を する。
- ②自分の考えを文章にすることができる生徒が 自分のちんを入事にすることが 多いので、学習内容や音楽的な要素と関連付け 授業があまり行われていないと感じる生徒が複
- て記入できるように指導していく。 ③ワークシートにまとめるなど、真面目に取り組 む生徒が多いので、全体で発言できるよう発問 を多く設定する。

【授業の一部または全部を改善すること】

- ①生徒同士の教え合い学び合いの時間を設定
- する活動を取り入れていく。
- 数いたので、多くの場面で自分の意見を発言でき るグループ活動などを多く設定する。

具体的方策には「命の大切さを実感しながら理解 することができる取り組み」を入れてください。 ただし「全教科必ず」ではなく、「入れられる教科 は積極的に」とのことです。